

交 流 親 善 コ ー ナ ー 1

海外事務所・国際ビジネスサポートデスクを 拠点とした兵庫県の国際交流

兵庫県国際交流課

はじめに

兵庫県の国際交流の概要—友好・姉妹提携先との交流推進について

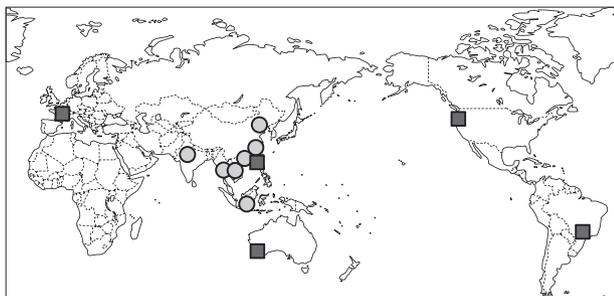
(1) 本県の友好・姉妹提携先

本県はワシントン州（アメリカ）、ハバロフスク地方（ロシア）、パラナ州（ブラジル）、西オーストラリア州（オーストラリア）、広東省・海南省（中国）、パラオ共和国の7つの姉妹州省との交流を中心に、友好交流だけでなく、経済・文化・教育など多岐にわたる交流を進めています。

(2) 海外事務所、国際ビジネスサポートデスクの設置

友好・姉妹提携との交流をはじめ、世界とのネットワークを強化するため、海外における県の総合窓口として、本県では、5か所に海外事務所を設置しています。

また、県内企業の海外展開を支援するため、現地在住の本県ゆかりの民間人の協力を得て、アジア主要都市の7か所に「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。



■ 海外事務所：シアトル、パース、パリ、クリチバ、香港
○ 国際ビジネスサポートデスク：大連、広州、上海、ホーチミン、デリー、ジャカルタ、バンコク

海外事務所の職員体制

	県職員所長	現地所長	現地職員
4事務所	○	—	○
ブラジル事務所	—	○	○

海外事務所の活動と成果

5つの海外事務所の活動は、主に友好・姉妹提携先との交流推進、経済・芸術文化・教育・市町交流の推進、観光プロモーション、日本語教育支援、県人会などをはじめとする現地関係機関とのネットワーク構築、本県の紹介、現地の情報収集などが挙げられます。活動内容は多岐にわたり、近年の主な成果は次表のとおりです。

海外事務所の近年の主な事業・成果

事務所名	主な事業・成果
兵庫県ワシントン州事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・友好提携50周年記念事業「関西セミナー」の実施 ・シアトル総領事公邸における「ひょうごの観光・物産展」開催 ・神戸ビーフなど兵庫県産品の米国市場進出への支援 ・ワシントン州・兵庫県教員交流の推進 ・ワシントン州日本語スピーチ&スキットコンテストの開催
西オーストラリア州・兵庫文化交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・コアラの兵庫県への寄贈支援 ・日本酒など兵庫県産品の豪州市場進出への支援 ・西豪州・兵庫県播州織交流プログラムの支援 ・訪日教育旅行受入促進支援 ・日本文化・日本語教室・日本語セミナーの実施
兵庫県パリ事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・セヌ・エ・マルヌ県への日仏交流コーディネーター派遣、海外研修員の受け入れ支援 ・播州織など兵庫県産品のフランス市場進出への支援 ・ジャパンエキスポでの兵庫県PR ・事務所における日本・兵庫文化PRイベント開催 ・刀鍛冶（多可町）とアヴェロン県との交流支援
兵庫県ブラジル事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・住友ゴムなど県内企業ブラジル進出支援 ・ブラジル経済訪問団の来県支援 ・兵庫県農業高校生交流の支援 ・パラナ湾水質保全事業、ロンドリーナ市水質改善プロジェクトの支援 ・パラナ州への中古医療機器提供の支援
兵庫県香港経済交流事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の香港などへの進出支援 ・ひょうご農林水産物など輸出促進事業の支援（百貨店での通年販売、国際食品見本市など） ・香港での関西広域連合観光プロモーション支援 ・中国、ASEAN諸国、インドとのネットワーク構築など ・週刊誌など香港マスコミへの兵庫の観光PR



現地試食販売会の支援（ワシントン州事務所）



播州織ドレスのパリ・オペラ座での披露（パリ事務所）



住友ゴム工業ブラジル工場開所式典（ブラジル事務所）

ひょうご国際ビジネスサポートデスクの活動と成果

（1）海外事業展開支援

海外への販路開拓、現地駐在員事務所の設立に係る相談、現地代理店調査などを行っています。2013年度は141件の相談に対応しました。

具体的には、中国に進出した企業から現地採用職員の雇用契約書についての相談、香港進出を検討している企業から現地商習慣と市場ニーズについての相談、ベトナム工業団地への進出を計画している企業からの相談などがあり、いずれもアドバイスのうえ、専門家の紹介などの対応を行いました。

（2）ひょうご海外事業展開支援セミナー

国際ビジネスサポートデスクを委嘱している専門家が、帰国時に県内で、2013年度は6回講演し、約250人の参加を得ました。講演後の個別相談では、各国への進出やネット販売の相談、現地の空港関税などの相談に対応しました。

海外事務所の新たな取り組み

①情報発信の強化「成果の見える化」

これまで議会などからも海外事務所の活動やその成果がわかりにくいとの声があるため、今年度から、海外事務所の活動・成果事例を取りまとめ、毎月記者発表を行うほか、顕著な成果については随時

記者発表し、海外事務所の成果の見える化を図っています。

②海外事務所の経済機能強化

近年、本県の海外事務所における経済案件が増えていることから、海外事務所長をひょうご海外ビジネスセンターを運営する（公財）ひょうご産業活性化センターの参与に位置づけ、同センターとの連携を図るようにしています。

特に香港経済交流事務所では、今年度より県内銀行による派遣職員を事務所副所長として受け入れ、経済機能強化を図っています。

③関西広域連合構成団体による共同利用

2013年度より、県海外事務所は関西広域連合の看板を掲げ、関西広域連合構成団体からの依頼に応じ、情報収集・提供などを行っています。

④県立大学の海外事務所設置

2014年7月、グローバル化を進める兵庫県立大学の国際交流拠点として、ブラジルを除く4事務所内に県立大学の海外事務所を設置しました。今年度は、シアトル事務所とパース事務所において、県立大学の学生をインターンとして2人ずつ事務所で受け入れるほか、現地の大学との新たな交流に向けて今後取り組みます。

おわりに

海外事務所については、ほかの自治体を見ても廃止・縮小の動きが見られ、本県においても包括外部監査で事業成果と費用対効果が見えにくいと指摘されました。しかし、人や企業がボーダレスで活動する現在、その活動を支援することはまさしく色々な意味において地域振興につながるものと認識しています。そのため今年度は、海外事務所について、情報発信の強化・成果の見える化、経済機能の強化、事務所の共同利用などに取り組み、より効率的・効果的な事務所運営をめざしています。

今後とも、国際ビジネスサポートデスクと、海外事務所を相互に連携させながら、県内企業の販路開拓や海外展開を支援する経済分野をはじめ、教育・芸術文化・草の根交流の拠点として、兵庫県のグローバルネットワークを拡充していくこととしています。